

「愛の献血」全国に

県医療品配置協会 関市で150人協力



愛の400ミリ献血に協力する男性
関市市平賀、ハロー関ひがし店

県医療品配置協会が取り組む「愛の400ミリ献血」が2日、関市市平賀のハロー関ひがし店駐車場で行われ、約150人が協力した。協会は40年ほど前から、全国的に血液が不足する夏と冬に県内各地で献血活動を実施。昨年、8月1日が「配置薬の日」として日本記念日協会に登録されたことを受け、今年は全国配置薬協会の全国統一活動に位

置付けて行い、1、2日に19都府県で展開された。

県の協会は7、8月の2カ月間に県内5カ所で順次実施。関市では、協会企業やその取引先企業の従業員、買い物客らが医師の問診を受けた後、献血に臨んだ。

全国での活動と呼び掛けた全国配置薬協会の配置部長の河上宗勝河上薬品商事社長は「岐阜での取り組みが全国に広がりうれしい。今後も続けていきたい」と話した。愛の400ミリ献血は9日は高山市、23日は大垣市でも行われる。

(佐名妙予)